

平成20年度 歴史民俗資料館の管理運営に対する評価票

所管課：教育委員会事務局社会教育課

評価対象期間：平成20年4月1日～平成21年3月31日

1 指定管理者

指定管理者	株式会社日立ビルシステム
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日（5年間）
施設概要	発掘による埋蔵文化財や、市民から寄贈された農具、民具などの民俗資料が多くあることから、これらを収蔵し、展示、公開するとともに、長年にわたり伝えられてきた民話の紹介などイベントの開催やリーフレットの発行などにより、特徴ある郷土の歴史、文化をより深く理解し、誇りと親しみを感じてもらうことを目的とする。
指定管理料	9,350千円（5年間計 46,700千円）

2 管理運営の内容

項 目	20年度の状況
運営状況	○平等利用のための手法 ・ 接遇教育や案内資料の整備を行い、来館者への平等で均一なサービス提供に努めた。 ○自主事業の展開 ・ 研修室を利用した「拓本教室」や「手作りに挑戦」など各種イベントを年間14回開催した。 ・ 拓本教室は自主活動となり「なわて拓本の会」発足し、市内の石造物の調査計画を立てるまでに至りました。 ○情報提供 ・ 市広報紙、資料館のホームページに資料館の催しの案内を掲載した。 ・ 朝日放送歴史街道に資料館の取材を受け平成20年4月に放送。全国的に向け、四條畷市の歴史遺産をPR。 ○安全確保対策 ・ 緊急連絡先を掲示。 ・ ミーティングを適時実施し、常に状況に合わせた管理運営に努めた。 ・ 迅速なクレーム処理を行うための社内相談窓口を施設のバックアップに適用。
維持管理状況	○ 保守点検 ・ 安全面を優先しアスファルト陥没部の修繕および消火器の交換を実施。 ・ 窓面台ウレタン防水・鉄部塗装とともに屋外掲示板の取替えを実施。 ・ 施設の稼動状況に合わせ最適なメンテナンス周期を設定、基準化し適切な整備を実施。 ・ 職員による蛍光灯交換、機器の状況点検など職員を動員した効果的な維持保全に努めた。 ○備品の管理 ・ 展示模型及び映像機器を適切に管理。 ○警備業務 ・ カメラ・モニターによる監視。 ○環境保全への取り組み ・ 年間を通した空調温度の見直し。 ・ ごみ箱の供用化、種類別の設置などゴミの分別と少量化を推進。

利用状況	前年度と比較し、利用者数は全体で2.4%の減少となったが、平成19年度評価委員会で説明いたしましたように来館者にゆっくりと見学していただき、見学時間が長くなった。特に、市内小学校長に案内及びカリキュラムを出し、6年生の歴史と3年生の昔のくらしの際には市内全7校が来館を受け、巖古文化研究保存会の会員の協力を得て民具の使い方の実演や縄編みを実際に行った。 ・学校・保育所 1,331人(7.9%減) ・一般団体 1,022人(1.4%減) ・個人 7,754人(4.1%増) - 合計 10,107人
収支状況	当年予算で42万9千円の赤字を見込んでいたが、「日立共同購買サービス」の利用等により、経費縮減を行い、33万1千円の赤字に圧縮した。

3 利用者へのアンケート調査

項 目	20年度の状況
調査の実施内容	対象：施設利用者 調査期間：平成20年11月1日～12月14日 調査方法：アンケート用紙と箱をホールに設置。自由に記入してもらう 回答件数：92件
調査の結果	スタッフの対応：「満足」が約88% 「やや満足」を含めると約94% 展示の解説への対応：「分かった」が約72% 「だいたい分かった」を含めると約98%
主な苦情・意見等	・またイベントしてください。 ・毎年館長さんの絵を楽しみにしています。 ・財政難で維持に苦労されていることに敬意を表します。 ・壁の中のキリストを見たくて来ました。時代説明や墓碑の説明などとても良かったと思います。また友達と来たいです。

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	資料館特別展の冊子では、表紙の描写にも優れ、館長のご尽力が伺える。今後、後進の指導にもつとめていただきたい。 資料館へのアクセスの方もわかりやすい標示でお願いしたい。

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る結果（担当部局として非常に満足できる結果）
- 4 計画内容をやや上回る結果（担当部局として満足できる結果）
- 3 計画内容どおりの結果（担当部局として妥当と判断する結果）
- 2 計画内容をやや下回る結果（担当部局として不満が残る結果）
- 1 計画内容を下回る結果（担当部局として非常に不満が残る結果）